

いわき民報
所行發 社報民きわい
(第一八三四號) 地一町四向平
己克輝千 人行報民報
除九日曜月但刊日
十二第 一 月 五 月 一 價 定

29日—4日
淑女と拳骨
漫遊・ボバイの四ツ子
聚樂館

秋刀魚の初水揚げ
江名港清正丸が二十万尾と
水揚げした、警城濱の水揚げはこれが当初で各方面の人氣を呼んでゐるが、...

宣傳強化対策協議
けふ濱通り地區共同委員會
濱通り地區共同委員會は二十六日午前十時から加賀團体代表二十数名が参加、本部で開かれた、...

石城統計協會結成
三十一日平第三校で發會式
統計事務の促進をはかるため郡下町村の統計主任が一丸となつて石城統計協會を結成することになり準備を急いでゐるが、...

湯の街湯本の復興へ
さのふ兩組合で源泉地視察
湯本町温泉旅館組合及び共同浴場組合は二層施設を完備、湯の街湯本を往時の繁昌さへに引戻さうと、...

星製薬強化
津田製薬士着任
平市五丁目星製薬社福島工場製造部長金澤徳兵衛氏は本社に請ひ、...

新憲法式典に
お酒特配
市では卅、卅一日に來月三日施行される新憲法式典に國民に特配されるお酒は青年男子二合宛の發表あつたが配給割當は二割減なので平市では男三、三十一の兩日に配給される

神谷教授講演
農業會支部では二十七日午後一時から食糧管理樓上に東京帝大農學部神谷教授一氏を招き農業經濟に關する講演並に座談會を開く、...

水田二毛作に
拍車と
躍起の農業會支部水田を半年遊ばせて置くのはつたない、...

穀物調整
石城穀物調整會
二十八日農業會支部で總會を開き從來の穀物一俵一回、...

蠶糸技術員會
農業會支部では二十六日午前十一時から蠶糸技術員協議會を開き左の事項を協議した

復興事務所が調停へ
連鎖たオリオン建設問題
借地借家法を楯に平市前に建設される洋館専用設備オリオン座に眞向から反對運動をつづけてゐる平市人同盟委員長三森虎雄氏は引揚者警城濱代表と二十二日地主馬目太次氏を訪問、...

社會黨の講演會
湯本町舊校舍で
湯本町舊校舍で二十五日午後六時から社會黨の講演會が開催された、...

四倉の町民大會
電産スト批判等を中心に
四倉町民大會は二十六日午後六時から海邊座に開催、電産闘争経過發表會を行つた

郡勢懇談會
郡下の勢懇談會は二十六日午前十一時から平市労働會に開催、...

古河炭礦の家族慰安會
古河炭礦では來月三日礦業所勞組健康組合共催で新憲法頒布の祝典を行ひ家族慰安の運動會も計畫してゐる

放談會
鈴木武雄氏を囲み
十七日夜七時から公會堂日本間に放談會を開催、秋の一夜を政治問題に、...

憲法普及講演
二十七日夜平第三校
一場所一平市 聚樂館
主催 同胞援護會福島縣支部

赤痢終熄
大字沼の内
三ツから獲した集團赤痢はその後延總計四十名からの罹病者を出したが町當局と平市及び保健所が防疫に協力し二十六日全く終熄した

いわき寸言
湯本の街湯本の復興發展に温泉組合等が乗り出す、...

電氣熔接用器具
在庫品豊富
大量注文に應ず
不二工業株式

松竹映畫でお馴染の
高尾光子の特別實演
特別舞踊—長崎物語—水鏡

同胞援護會
演藝大會
基金募集

同胞援護會福島縣支部
平市 役所

### 援護週間に拾ふ

## 明・暗ふたつ模様

### 引揚者の美譽にこの不法家主

引揚者の援護運動が起されて各地に「示せ祖國の親心の温い手がさし」の温い手がさしだつてゐる。だがこんな佳話！こんな悲劇もある。

明 平市北目町川和田萬藏氏妻弘子さん(四六)は終戦と同時に朝鮮から歸國、同胞の援護に自ら世話を買つて出で引揚者感謝の的となつてゐるが、話は戻つて去る二十一日の事、市衛生課に勤務する清水久吉さん(五二)妻千代子さん(三七)が胸の病で斃れた十九歳を頭の子を連れて、久吉さんの心境はどうか、あつたか、刻のたつたつて、昇まるのは今後の構ひばかりこれを見兼ねた弘子さんは他人ごとにあらずと区内の引揚者達に呼びかけ零細な金財を募つて靈前に供へる一方、種々辭儀の世話から面倒までいたれりつくりの援護に清水さん一家をはじめ附近民を感涙させてゐるといふ、これを聞きつけた隣側では清水さん一家に慰勞金を贈る一方、川和田さんに感謝状を贈るといふした。

暗 市内番匠町某宅に間借してゐる加治屋重忠さん(三八)一家は去る七月満州から衣類、金銀、書籍、骨董、高價買入、平市南町平館隣り 中央會館引揚げ、親たちの居た同宅へ寄る邊なき身を寄せたが、一方家主の家族二人も隣郷、家族五人となつた、ところが家

### 郡下の收籾 早魃に祟られて 目標の八割六分

晩秋籾の集荷は廿二日で完了した、總量八千貫で目標の一萬一千貫に達しなかつた、右は早害援護運動を展開することに決定した。市では廿八日晝夜二回、稲硬病が發生したのに影響をうけたもの尙地方事務所鑑査課の調査による、本年度全收籾は春演藝會を催すこととした、市の籾初秋晩秋を通じて目標の三萬八千貫に對し三萬八千六百といふ成績に終つた。

明年度の目標は 三萬五千貫 郡下の晩秋籾終了 片倉製米工場で扱つた今年の産籾は二十二日で晩秋籾が完了した、目標三萬貫に對して今一息の二萬九千八百貫に達した、うち川前村の四千四百貫、入遠野の三千七百七十二貫を筆頭に成果を収めたが、今年も初秋、晩秋籾とも千慮のため被害を蒙つたので来年度は見返り物資として、御の持つ重大使命を達成する目的から農業會支部では目標を今年より五千貫増の三萬五千貫と決定大々的な増産運動を展開することとした。

### 管内職員 生計費調査

農業會支部では待遇改善要求に伴ふ資料として管内職員が生計調査を開始、二十八日に全員の出職員の生計費を報告する。

大浦村最勝院で 石城地方事務所主催の上席指導講習會は二十六日午前十時から大浦村最勝院に開講した、受講者は郡下五十七校の教務主任、内島縣視學が講師となり學校經營と教務主任の在り方をはじめ、教育の民主化等二十七日正午まで泊り込んで受講、名士の講習もあつた。

### 湯本町の防火デー

湯本町警防團では二十五日の防火デーに當り全町の隘を始め防火用具その他の機械器具の点検を實施防火対策をも協議した。

### 市の援護週間

廿八日は演藝會 同胞援護會支部では海外引揚者

### 肥料回収の割當

農業會石城支部では全農家に呼ぶ午前九時から公會堂日本間で行なう、目標三萬四千五百九十三枚とし農家一戸當り一枚を責任割當としてこれが回収に協力をもとめる、一、一枚に對して確安十匁の特配とありいま各町村に肥料回収戰が展開されてゐる、各町村割當左の通り、川部二二二、植田四九〇、渡邊二六五、勿來五四七、錦三一五、山田三四一、田人四〇五、▲集荷所錦町吳羽工場 泉五〇〇、警崎四一三、湯本一四六、小名濱三四五▲集荷所四ツ倉警城セメント工場 入遠野二四八、上遠野四九〇、平七二二、好間二八〇、内郷四八五、豊間一九二、飯野三六一、神谷二二七、江名一七六、高久三四七、鹿島二六六、澤渡五三六、永戸四七四、草野三五四、夏井二二〇、▲集荷所秋田東肥工場 四倉一七九、大浦三七三、大野四六一▲集荷所四倉警城セメント工場、赤井四五五、小川三九〇、川前二九一、▲集荷所神保警城セメント工場

### 行商向の雑貨

各種入荷しました 卸開屋 さかいや商店 電話八五五

### 越冬物資 募集運動

海外引揚者同胞援護運動は二十五日から全市に展開され市及び同胞援護會支部、石城地方事務所では種々援護に温い手をさし、越冬物資の募集運動を展開、酒のみ着のまゝの冬を迎へる引揚者同胞に贈ることとした、二十九日から三日間をして各隣組毎に取組各區を通じて来月三日まで市社課に届けられる。

### 好間堰普水の 組合議員選舉

好間堰普通水利組合議員の任期は二十七日付で満了になるが第二區議員二名の選舉は二十七日

### 嘉子の念願

嘉子は十七才で土地の高女を並み成績で卒業し二十才の春同地方の或る會社社員と例によつて例の如く見合ひ結婚を成して結ばれた。一年経つたが、嘉子は丸々肥つた男の子に思はれ、思ひと付けた若夫婦共子ほん、今年度は丁度七五三のお祝五、主人よりも自分よりも、もつと偉い人間にと少なな時から、嘉子は、嘉子の結婚前念願して、かくして忠弘の頭腦は増

### 吉田利雄

「あつ、日野さん、日野さんでありませんか?」「えッ、日野女の子が一人です」「それは又

### ギター

「お子さんは何人位...」

### 吉田利雄

「お子さんは何人位...」